

第112回医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 43 問

43 38歳の女性。不妊を主訴に来院した。4年前に結婚し挙児を希望しているが、妊娠はしていない。6か月前に子宮卵管造影検査を受けたが、異常はなかった。5年前から月経痛があり、1年前から月経中に市販の鎮痛薬を服用している。月経周期は38～90日、不整。持続は5日間。過多月経はない。身長164cm、体重54kg。体温36.8℃。脈拍68/分、整。血圧110/56mmHg。腹部は平坦、軟。内診では、子宮は前傾後屈で正常大、可動性不良。Douglas窩に有痛性の硬結を触知する。右卵巣に有痛性の嚢胞を触知する。経膈超音波検査では右卵巣嚢胞の内部エコーは均一である。左卵巣に異常を認めない。右卵巣の経膈超音波像(別冊No. 18)を別に示す。

治療として適切なのはどれか。

- a プロゲステロン療法
- b クロミフェン療法
- c GnRH アゴニスト療法
- d 腹腔鏡下右卵巣切除術
- e エストロゲン・プロゲステロン療法

別 冊

No. 18

(採点上の取り扱い)

採点対象から除外する。

(理 由)

問題として適切であるが、受験者レベルでは難しすぎるため。